

中射撃、其ノ他吾人ノ近方ニ落達セル彈丸ノ景況ヲ見ルニ相當ナル精
度ニ在リ、且關係彈道癡モ相當ニ修正セラレアリテ所謂簡先揃ヒアリ、
遠近兩極限ニ及又シタル後中數表尺ニ移ル等敵ノ射擊諸元ノ修正亦明
瞭ニ之ヲ觀察スルコトヲ得ルコトアリ然レドモ平均點ノ掌握、指導ハ
巧ナリト謂フヲ得ス

六 偽裝、偽裝

偽裝ハ良好ニシテ敵ノ觀察所ハ容易ニ發見シ難シ只人ノ出入ハ自動車
ノ停止等ニシテ判斷シ得
又擬砲火ヲ相當使用セシモノノ如シ吾人ハ之ニ無駄彈丸ヲ使用セザル
如ク十分ナル注意ヲ要ス之ガ爲火光ト彈著トノ關係ヲ確認スルコトニ
勞ムルヲ要ス

第二節 我ガ軍ノ砲兵戰闘並ニ敎訓

吾人が戰場ニ在リシ期間ハ僅少ニシテ調査不徹底ナルモノアルモ左ニ之
ヲ列記ス

一、對戰車射撃及對戰車肉迫攻撃

中距離以上ノ移動中ノ對戰車群射撃ハ我方使用スル彈藥數ニ比シ通常效果尠キヲ以テ當初射撃セシ外特ニ必要ナル場合ノ外殆ンド射撃セス然レドモ停止セル戰車群ニ對シテハ稀ニ射撃セシコトアリ之ニ依リ敵戰車ハ移動ヲ開始スルニ至ル

近距離特ニ五六百米以内ノ對戰車射撃ハ沈著シテ射撃セバ百發百中ナリ是レ近年對戰車射撃ヲ相當訓練セシ結果ナラン

我ガ野砲兵ハ苟シクモ放列ヲ布置シアルトキハ如何ニ多クノ敵戰車ニ包圍セラル、モ何等ノ危惧ヲ抱カザル域ニ達シアリ

敵ハ夜間十數臺一團トナリテ歩兵ト共ニ我方陣地前近距離ニ現出シ戰車ハ砲塔ノミヲ出シテ我方ヲ射撃ス故ニ拂曉時ニハ良ク搜索シテ速カニ此等ヲ發見シ撲滅スルヲ要ス

我ニ肉迫セザル戰車ニ對シ適早ニ暴露陣地ニ火砲ヲ推進シ戰車砲ノ好洞トナラザルコト亦必要ナリ

對戰車肉迫攻撃

「サイヤード」空襲ニ「カソリン」八分目位迄入レ一重サヲ附スル爲砂ヲ若干入ル、ヲ可トスルノ案アリ一布片ヲ以テ固ク栓シ栓ニ點火（戰車加熱シアル際ハ必ズシモ栓ニ點火スルヲ要セス）シタル後戰車ノ後端上面ニ向ヒ投擲スルトキハ直ニ敵戰車ニ火災ヲ發セシムルコトヲ得此ノ方法ハ各兵科共實用セラレシトコロナリ

二、對歩兵及對重火器

對疎開歩兵射撃ハ稀ニ實施セシコトアリ七月二十五日敵ガ「ホルムズン」河南岸「ノロ」高地方向ニ向ヒ數群ノ疎開隊形ニテ前進中九〇野砲ヲ以テ射距離約四千ニテ射撃ヲ爲セシニ恰モ帶ニテ掃ク如ク一群毎ニ消滅セシ狀況ハ技ガ兵團戰闘司令所ヨリ明瞭ニ看取セラレシト云フ對重火器射撃ハ屢々之ヲ實施ス中距離以下ニシテ中隊長ガ四門ノ射向及射距離ヲ能ク掌握シアリシトキハ各々敵ノ重火器ニ指向シ效力射ヲ行ヒ之ヲ撲滅セシコトアリキ七月二十三日伊勢部隊某中隊ノ歩兵某